



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

関東予選② サンヒルズCCイーストC (栃木県)

予選大会結果のお知らせ

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東予選②>

◇2015年4月1日(水) 天候:曇り時々雨

◇栃木・サンヒルズCCイーストC (11-12歳女子5577ヤード、パー72ほかカテゴリー別)

◇出場84人

<関東予選② 概況>

低年齢層男女5部門が行われた。11-12歳の部女子では、昨夏の関東小学生大会優勝の佐久間朱莉(埼玉・名細中1年)が、4オーバー76で回ってトップで決勝大会(5月5~7日、岐阜・花の木GC)に進んだ。9-10歳の部の女子では、佐藤夏恋(千葉・白幡小5年)が最終18番でイーグルを奪い、この日ただ一人のアンダーパーの1アンダー71をマークし、この部門では抜きん出た力を発揮した。同男子は、池由哉(新潟・根岸小4年)と近藤直杜(神奈川・善部小4年)が79で並び、18番からのカウントバックで池が1位となった。

<関東予選② 予選結果>

決勝大会進出者は以下の通り。*敬称略

▽11-12歳女子

【1位】佐久間朱莉(埼玉・名細中1年) = 76

【2位】鈴木優芽(埼玉・小針中1年) = 79

【3位】佐藤有仁加(栃木・宇都宮大教育学部付中1年) = 79

【4位】佐藤杏莉(千葉・麗澤中1年) = 81

▽9-10歳男子

【1位】池由哉(新潟・根岸小4年) = 79

【2位】近藤直杜(神奈川・善部小4年) = 79

【3位】大久保海(神奈川・伊勢原小4年) = 81

【4位】岩井光太(埼玉・中山小5年) = 83

【5位】小林翔音(東京・半田小4年) = 83

▽同女子

【1位】佐藤夏恋(千葉・白幡小5年) = 71

【2位】関口碧(埼玉・高萩小5年) = 83

【3位】岡島彩乃(千葉・稲岡小5年) = 85

▽7-8歳男子

【1位】大橋優(熊本・清水小2年) = 90

▽同女子

【1位】松原柊亜（栃木・鹿沼東小3年）＝75

【2位】小林イリス（東京・聖学院小3年）＝76

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

<関東予選② ハイライト1>

◇11—12歳の部女子 ◇栃木・サンヒルズCCイーストC（5577ヤード、パー72）

佐久間朱莉（埼玉・名細中1年）が、グリーンに苦しみながらも、4オーバー76でトップ通過を果たした。「パターが全然ダメだった。最初から、まっすぐ打てなくなってしまった」と振り返る。うまくいったのは「2ホールだけ」といい、14番で3メートルのパーパットを沈め、15番で同じく3メートルのバーディーを決めたところを挙げた。昨年は関東小学生大会で優勝し、全国大会では1打差2位になった。この予選には「小さいころ出ていたけど久しぶりだと思う。中1になるので（11—12歳の部では）上の年齢なのでチャンスがあるかもと思って」と、世界ジュニア代表をつかみに来ている。関東ゴルフ連盟の派遣選手として3月22～30日に米フロリダ州のIMGゴルフアカデミーで体験もしてきた。決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に向け「1、2メートルの微妙なパットを入れられるようにしていく」と、課題を挙げていた。

<関東予選② ハイライト2>

◇9—10歳の部女子 ◇栃木・サンヒルズCCイーストC（5001ヤード、パー72）

佐藤夏恋（千葉・白幡小5年）が、飛び抜けたスコアで決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に進出した。1オーバーできた最終18番パー5で、残り64ヤードをサンドウェッジで直接放り込むイーグル。「打ち上げだったんで見えなかったけど、グリーンにいた人が『入ったよ』っていうから（同伴競技者）みんなとハイタッチした」とニコニコ。自身初めてというアンダーパーの71をマークし、2位に12打差をつける圧勝。この日ただひとりのアンダーパーだった。「きょうはアイアンショットが良かった」と振り返る。昨年は3位で決勝大会に進んだが、12位に終わった。今年も出場部門は同じで「身長が8センチ伸びた」と、昨年より「成長」している。「今年是世界代表になる。2位以内に入る自信はあります」と、意気込んでいた。

<関東予選② ハイライト3>

◇9—10歳の部男子 ◇栃木・サンヒルズCCイーストC（5577ヤード、パー72）

池由哉（新潟・根岸小4年）が79で近藤直杜（神奈川・善部小4年）と並んだが、18番からのカウントバックで17番ボギーの池がダブルボギーの近藤を抑えてメダリストになった。「苦手のバンカーに入らなかったのが良かった。いつも新潟のゴルフ場でやっているの、グリーンが5倍速く感じた。3パットを3回した」とパットで苦戦したものの、バーディーを2つ奪うなど、本人は納得の表情。今年の新潟市内は雪が多く「5ヤードぐらいの小屋にビニールを張ったみたいな練習場で打っている」と、雪国のハンディはあるが、その分「アプローチをたくさんやっているから得意」と、プラスに変えている。母方の祖父母が決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）が行われる岐阜県在住。「おじいちゃんに練習ラウンドに連れて行ってもらう」と、楽しみにしていた。



写真： 左／佐久間朱莉（11—12歳の部女子）、中央／佐藤夏恋（9—10歳の部女子）、
右／池由哉（9—10歳の部女子） 写真クレジット：©IJGA2015